

製品名: ECM1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10284**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:10000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	ECM1
別名	ECM1; Extracellular matrix protein 1; Secretory component p85
遺伝子 ID	1893.0
SwissProt ID	Q16610
免疫原	ヒト ECM1 の N 末端領域から得られた合成ペプチド。

背景

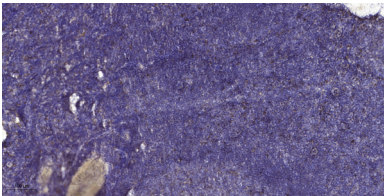
この遺伝子は、軟骨内骨形成、血管新生、および腫瘍生物学に関与する可溶性タンパク質をコードしています。また、様々な細胞外タンパク質および構造タンパク質と相互作用し、皮膚の完全性と恒常性の維持に寄与しています。この遺伝子の変異は、皮膚、粘

膜、および特定の臓器の全身性肥厚を特徴とするリポイドプロテノーシス（皮膚粘膜硝子症またはウルバツハ・ヴィーテ病とも呼ばれる）と関連しています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが報告されています。[RefSeq 提供、2011 年 2 月]、疾患：ECM1 の欠陥はリポイドプロテノーシス（LiP）の原因です[MIM:247100]。ウルバツハ・ヴィーテ病または皮膚粘膜硝子症としても知られています。LiP は、皮膚、粘膜、および特定の臓器の全般的な肥厚を特徴とする、まれな常染色体劣性遺伝疾患です。典型的な特徴としては、眼瞼のビーズ状丘疹と喉頭浸潤による嚙声などが挙げられます。組織学的には、広範囲にわたる硝子質の沈着と基底膜の破壊 / 重複が認められます。

研究分野

免疫学

画像データ



パラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した（4℃で一晩）。2、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した（室温、30 分）。